



みなさんお元気ですか?院長の喜多村です。寒くなってきましたね。もう11月後半ですから、むしろ寒くなければ変ですね。小学校の頃はよく雪がふっていたのを思い出します。地球の温暖化が気になります。

発行 2008年11月21日
発行元 医療法人 喜和会 喜多村クリニック
発行人 喜多村邦弘 編集長 井上 真澄
〒816-0935 福岡県大野城市錦町 4-3-8
TEL 092 - 581 - 6640 FAX 092 - 585 - 9612
URL <http://www.kitamura.or.jp/>
E-mail info@kitamura.or.jp

地域のご高齢の方々がもっとも健康で安心して生活できるように

院長の喜多村です。私はこの地域のご高齢の方々がもっとも健康で安心して生活できるように、ご自宅での療養生活を医療面からお手伝いしたい。そんな想いで在宅医療・訪問診療に取り組んでいます。

この筑紫地区の在宅医療に関わる保健・医療・介護・福祉のに携わる多くのみなさんが職種や事業所などの枠組みを超えて肩の力を抜いて、気軽にこの地域の在宅医療を話せる場を作りたい。

そしてそのみなさんが顔見知りになって気軽に相談できる関係となり、本当によい連携がスムーズとなればこの筑紫地区の在宅医療はすばらしいものになると、すごいことになるぞとひとりで勝手に思っているのですが、いかがでしょうか(笑)。

第1回 筑紫地区 在宅医療 見学セミナーを開催しました。

そんな想いで筑紫地区の在宅医療に関わるみなさんと医療・介護施設や事業所へおじゃまし見学させていただき、みなさんと学び情報交換をする場を企画しました。

11月15日(土)に介護付有料老人ホーム「ラ・ナシカおとがな」(大野城市乙金14-3)さんへおじゃまして在宅医療の勉強会をしました。(写真はラ・ナシカおとがな)

お忙しいなか施設の方も含め20名ほどの方々にご参加いただき、いろんな意見を交換させて頂きました。



訪問診療の度に関われるカンファレンス

ラ・ナシカおとがなさんでは訪問診療でおうかがいする度に、毎回カンファレンスが開かれます。施設の看護師、介護スタッフ、ケアマネージャー、施設長と連携している薬剤師・医師で入居者さんの病状の把握や今後の方針などを話しあい情報を共有し入居者さんの健康が管理されています。



施設長の金子貴美代さんは「医療連携に力を入れることは入居者さんに健康で安心して生活していただくためにとても大切なことです。」と話しておられました。ラ・ナシカおとがなさんの入居者さんへの熱き想い、熱きこだわりを感じました。(写真は施設長の金子さん)

このようなカンファレンスは病院では毎日行われていることですが、在宅や施設で定期的に行われることはとてもスゴイことだと思いました。実際のカンファレンスや診察のながれについては「きたむら Oh!(お)元気通信9号」でご紹介いたしました。

在宅医療での薬剤師の役割

薬剤師さんの在宅医療での取り組みをご存じですか。今回のセミナーで中央薬局・取締役の竹下文明先生(筑紫薬剤師会理事)に在宅医療での薬剤師の役割をお話いただきました。(写真は竹下先生)



薬剤師は患者さんのそばで仕事をすべき

竹下先生は、これからの薬剤師の仕事について、医療保険や介護保険の仕組みがめまぐるしく変わってゆく中で今や薬剤師は薬局の中で閉じこもって仕事をする時代ではなくなった。とはなされています。

薬剤師が在宅でする仕事とは？

どうやって患者さんのそばで薬剤師が仕事をするか、薬剤師が在宅医療の場できちんと仕事をすること、お金(薬剤管理指導料)をいただいて仕事をするということはどうということなのか、これまでは全くわかっていなかった。ラ・ナシカおとがなさんで薬剤管理指導を行ってゆく中で、そのコンセプトを学んだと竹下先生はなされています。

在宅や施設に小さな薬局を作るという考え方

在宅医療ではご自宅や施設に薬のを間違いなく服用するためにあらかじめ1週間分の薬を曜日別、朝・昼・夕・寝る前別に分けて保管しておく「薬入れ」を用意されます。(写真は自宅用の薬入れ、壁掛けて使います。)



薬剤師はこの薬入れを薬剤師が患者さんの自宅や施設に作った薬局と考えることで在宅で薬剤師が取り組む仕事がわかりやすなる。

この薬入れは「薬局」ですので、薬剤師は薬をつくる調剤だけでなく、薬をご自宅や施設へ出向きお届けし、さらに薬を間違いなく服用していただく

ために分ける配薬まで当然、薬剤師が行うべきことだとはなされています。

患者さんの身近に薬剤師がいること

お薬入れは2週間分ではなく1週間分の薬をセッティングするようになっています。これには大きな意味があります。2週間分ですと一度薬を薬入れへ配薬すると2週間は在宅や施設に薬剤師が来ないこととなります。これではご自宅や施設に薬局を作ったことにはなりません。

薬入れを1週間分にすることで少なくとも週に1回から2回ご自宅や施設へ薬剤師がお伺いすることになります。薬剤師と患者さん、ご家族や施設のスタッフの方々と会う機会が増え薬剤師を身近に感じていただけ



る。とはなされています。(写真は施設用の薬入れ、引きだしにひとり1週間分が入る。中央薬局オリジナル)

竹下先生の在宅医療に対する熱き想い、ごだわりが伝わってきます。スゴイ！。

このほか、医師の訪問診療への同行、カンファレンスへの参加、薬の相互作用のチェック、お薬の情報の提案、などなど日頃知らない薬剤師の仕事内容をお話いただきました。

機能する多職種の連携とは？

在宅医療を支える、いろんな職種の方々がお互いに顔見知りになって、気軽に相談できる関係を作ること。私はこれが実際に在宅医療の現場で機能する連携の基本だと最近強く思います。



職種や事業所などの枠組みを超えて肩の力を抜いて、気軽にこの地域の在宅医療を話せる場を今後も積極的に作っていきたいと思っています。

ご参加いただいたみなさん、もう顔見知りですね。気軽に話し、在宅医療をもりあげましょう！

院長 喜多村邦弘

喜多村クリニックのリハビリ物理療法のご紹介

干渉波治療

神経の働きを調整し、体の不調を和らげます。手足の神経を刺激し、筋肉をマッサージしてコリなどを和らげ血行を促進し、痛みを鎮める効果もあります。



適応

頭部痛、肩こり、背中痛み、関節周囲の痛み、捻挫、神経痛、腰痛、坐骨神経痛など。

マイクロ波治療

マイクロ波の加熱効果を使って患部を加療します。

適応

肩こり、腰痛、膝痛など（ペースメーカーや、手術で体内に金属が入っている患者様は使用できません。）



私たち看護スタッフにおまかせください！



北菌 智美 樋口 悦子 土谷 美樹



村口 由紀 高石 恵子

健康豆知識

インフルエンザワクチンの予防接種が始まりました。

今年も、インフルエンザの大流行が予想されます。インフルエンザに感染すると次のような症状がみられます。



突然の高熱、悪寒、関節痛、筋肉痛、頭痛、のどの痛み、鼻汁、咳など

【ワクチンの効果】

接種後2週間目より発揮し、約5ヶ月間維持されると言われています。推奨される接種の回数は、

12歳以下 → 1～4週間の感覚を空けて2回

13～64歳 → 原則としては1回接種

65歳以上 → 1回

（65歳以上の方は筑紫地区【筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・及び那珂川町】では 1,000 円の自己負担金で接種が受けられます。）



【インフルエンザの診断】

診察室で鼻腔、咽頭粘膜の粘液をぬぐい、20分ぐらいで診断します。当院ではA型B型の区別を行い、治療に役立てております。

しかし！ 何よりも予防が大切です！

1. 手洗い、うがいをしましょう。
2. 栄養を十分摂り、休息を取りましょう。
3. 人混みの中へは出ないように。（外出時はマスクを着用したり工夫をしましょう。）
4. ワクチン接種がとても有効です。

【インフルエンザの治療】

まず、発症したら 安静、保温、保湿につとめましょう。発症後48時間以内であれば、抗ウイルス薬が有効です。5日間の内服が基本となります。発症後48時間以後は、抗ウイルス薬は無効となりますので、対症療法が行われます。肺炎合併症には、抗生物質が併せて処方されます。

看護師 樋口 悦子

デイサービス外出行事 九州エネルギー館へ！



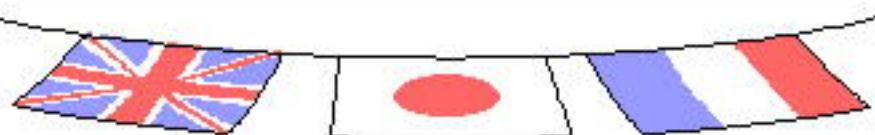
はなみずきでは、今年も10月21、22、23日の3日連続で、恒例の外出行事を行いました。今回は福岡市中央区薬院にある九州エネルギー館の見学を行いました。3Dシアターでは、特殊なサングラスをかけて150インチのスクリーンを見ると迫力ある立体映像が目の前に迫ってきて、ご利用者様も思わず「キャー」と若い娘のような声を出して驚かされていました。

2階のサイエンス体験コーナーでは、ゲームをしながら、科学の不思議を直接体験しつつ楽しむことができました。

写したたくさんの写真は楽しいイラストとコメントを入れてはなみずきのデイサービスルームに掲示しています。しばらくは外出行事の話題で持ちきりで、写真を見ながら余韻に浸りました。



今年も残り少なくなってきましたが、まだ次々と月行事を予定しています。11月の室内運動会、12月のクリスマス会も楽しみにされています。



はなみずきの室内運動会を行います！

11月13日(木)に、恒例の室内運動会を実施致します。今回も盛りだくさんの企画を致しました。ご利用者様にご参加いただく競技の種目は、

1. 力を合わせて、2. 菓子食い競争、3. リズム体操、4. 玉入れ、5. 飴食い競争、6. 宝探し です。

各種目には賞状と賞品、参加賞もあります。次号のニュースレターには、ご利用者様の活躍の写真をご紹介できると思います。



「街の灯」さし絵 デイサービス 藤田 直美作
チャップリン主演。目が見えない花売り娘と浮浪者の恋を描いたサイレントコメディ映画。(1931年)



デイサービス 「はなみずき」

TEL 092-581-6590

1日定員20名 送迎、入浴、機能訓練、レク、趣味活動他

